



雪解けを迎え、日に日に暖くなる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
 今年のクルーズ船の寄港は例年より早く2月に1隻目の寄港がありました。間もなく本格的なクルーズの寄港シーズンが始まろうとしています。今回は、今年の寄港予定をお知らせします。



■■冬景色の小樽港にクルーズ船が寄港！■■

昨年12月と今年の2月、クルーズ船「コスタ・セレーナ」が厳冬期の日本海の荒波を越え、冬景色の小樽港に寄港しました。冬期のクルーズ船の寄港は初めてであり、接岸後は、降り積もる雪に寝そべて楽しむ乗客の姿や、滑って転ばないように慎重に歩く乗員の姿など、冬ならではの光景が見られました。

2月の寄港時は、一晩停泊するスケジュールであったため、クルーズターミナルの前にスノーキャンドルを灯すなど、いつもとは違ったおもてなしを行い、多くの乗客・乗員の皆様に冬の小樽の幻想的な雰囲気をお楽しみいただけたことと思います。

冬季のクルーズ船の受入が実現したことで、北海道における今後の寄港シーズンの拡大が期待されます。



冬期に入港した「コスタ・セレーナ」



ターミナル前に灯したスノーキャンドル

■■今年初寄港7回を含む33回の寄港予定■■

今年日本船7回、外国船26回の計33回の寄港を予定しています。(詳細は別紙参照)

7隻のクルーズ船が初寄港となるなか、今注目を集めている、郵船クルーズ株の34年ぶりとなる新造客船「飛鳥III」(52,200トン)が今夏就航予定であり、嬉しいことに初航海で小樽港に寄港します。

さらに今年のトピックとして、「飛鳥II」による道内初のフライ&クルーズとなる、小樽港発着クルーズ「小樽航路道北めぐりクルーズ」が実施されることに加え、「にっぽん丸・飛んでクルーズ北海道」の実施回数が昨年の5回から6回に増えるなど、小樽港を起点とした北海道周遊クルーズが増えます。

小樽港が発着港になることで、乗客が市内に前泊・後泊する可能性が増えることで市内観光を通して、小樽市を知っていただく良い機会にもなります。

■■昨年の「出迎え」・「見送り」参加者数は約930名！■■

昨年、第3号ふ頭に大型クルーズ船が接岸可能になったことで、多くの乗客が徒歩で観光に出かける一方、船を見るために港を訪れる人が増えました。さらには、延べ930名の歓迎クラブの皆様、クルーズ船の「出迎え」・「見送り」にお越しいただくなど、港周辺に大きな賑わいが生まれました。

こうした港の賑わいづくりが評価され、小樽港は「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2024 特別賞」と「ポート・オブ・ザ・イヤー2024」に選出されました。今年も皆様と更なる賑わいを創出したいと思いますので、是非港へお越しください。



クルーズ船出港時の様子

【お問合せ先】

小樽港クルーズ推進協議会 (小樽市産業港湾部港湾室港湾振興課)

TEL : 0134-23-1107 FAX : 0134-23-1109 E-MAIL : kowan@city.otaru.lg.jp